

関口台町小学校 4年 理科「ものの燃え方」

授業のねらい

- 底のある瓶とない瓶の中でろうそくを燃やし、様子を観察する。
- それらの事象から学級で取り組む学習問題を一人一人が見出し、学級全体で考える学習問題を決める。



タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- オクリンクを活用し、教師側から児童へカードを送る。
- 児童は、自分で考えた学習問題をカードに記入して、提出ボックスに送る。
- 児童の半数程度が提出したのを確認し、提出ボックスを開放する。提出済の児童に共有する時間を確保する。
- 電子黒板を活用して、全体共有を行い、学級で取り組む学習問題を作成する。

児童の様子

- 早く終わった児童もオクリンクを活用したことで、友達の意見を知ることができ、自分の学習問題を見直して、再提出する児童もいた。
- 全体共有の際にも、共有画面を見ながら相違点を考える児童の発言が多く出ていた。

成果

- タブレット端末を活用したことで、短時間で学習問題を見出すことができた。
- 多くの意見を知ること、児童が自分と友達の意見を比較して振り返ることができた。
- 教師があとから児童の意見を確認する際にも、データで確認することができた。

課題

- 提出することが難しい児童や条件に当てはまらない学習問題を提出している児童がいると、他の児童にも状況が分かってしまう場合がある。